

大会前日:3月8日(金)

Pre-opening day: March 8 (Fri)

	第3会場 7号館1F	第4会場 10号館1F	第5会場 7号館B1F	第6会場 7号館11F
9:00		9:00-12:00 日米医学・ 寄生虫疾患部会会議		
12:00				
13:00				13:00-13:30 学術委員会
				13:30-14:30 機関誌運営委員会
14:00				
				14:30-16:30 日本寄生虫学会 理事会
15:00		15:00-17:00 原生生物学・ 共生生物学談話会		
	15:30-16:30 寄生虫分類形態 談話会			
16:00				
	16:30-18:30 生態学・疫学談話会			
17:00		17:00-19:00 分子生物・ 生理生化学研究会	17:00-18:00 寄生虫疾患 臨床検討会	
			18:00-19:00 マラリア談話会	
18:00				
19:00				

大会1日目:3月9日(土)

Day 1: March 9 (Sat)

	第1会場 7号館1F	第2会場 7号館13F	第3会場 7号館1F	第4会場 10号館1F	第5会場 7号館B1F
8:00					ポスター掲示
9:00	8:50 開会挨拶 9:00-10:30				
10:00	BPA-01~05				
	10:45-12:05				
11:00	特別講演				
12:00	12:20-13:20				
13:00	評議員会・総会 (授賞式含)				
14:00					13:25-14:05 ポスターセッション (偶数)
15:00		14:10-14:58 1A-01~04 分類・分子系統①	14:10-14:58 1B-01~04 宿主応答・病態①	14:10-15:10 1C-01~05 寄生成立・寄生胞膜	
16:00		15:10-15:46 1A-05~07 ゲノム解析・進化	15:10-15:58 1B-05~08 宿主応答・病態②	15:20-16:32 1C-06~11 シスト形成・分化誘導	
17:00		15:55-16:31 1A-08~10 ジビエの寄生虫分類・ 分子系統・疫学	16:05-16:53 1B-09~12 宿主応答・病態③		
18:00		17:00-18:30 シンポジウム①			
19:00	19:00-21:00 懇親会(BPA授賞式含) ホテル東京ガーデンパレス				

大会2日目:3月10日(日)

Day 2: March 10 (Sun)

	第2会場 7号館13F	第3会場 7号館1F	第4会場 10号館1F	第5会場 7号館B1F	第6会場 7号館11F	
8:00				ポスター掲示		
9:00	9:00-9:36 2A-01~03 分類・分子系統②	9:00-10:12 2B-01~06 薬剤開発	9:00-10:00 2C-01~05 感染機構	ポスターセッション (奇数)	プログラム委員会	
9:45-10:09 2A-04~05 クロマチン・転写制御	10:05-10:41 2C-06~08 薬剤耐性・薬剤評価系					
10:00	10:10-11:40 シンポジウム②					
11:00						
12:00	12:00-13:00 海外招待講演					
13:00						
14:00	14:00-15:00 2A-06~10 生化学①	14:00-14:36 2B-07~09 生態学	14:00-15:12 2C-09~14 ワクチン			
15:00	15:10-15:58 2A-11~14 生化学②	14:50-15:38 2B-10~13 疫学①	15:20-16:08 2C-15~18 疾病コントロール			
16:00	16:10-17:10 2A-15~19 実験系・評価系の 新規確立	15:45-16:21 2B-14~16 疫学②	16:15-17:03 2C-19~22 臨床・教育			
17:00	17:10-17:20 閉会挨拶	16:30-17:06 2B-17~19 検査・薬剤標的				~17:00 ポスター撤去
18:00					17:30-19:30 日本獣医寄生虫学会理事 事会	

1日目 第1会場
Day 1, Room 1

特別講演 Special lectures 10:45~12:05

「卓越技術の伝承:達人から学ぶ寄生虫診断と治療」

“Passing on Excellence: Diagnosis and Treatment of Parasitic Diseases

- Learning from the Masters”

座長 中村 ふくみ(東京都立墨東病院・感染症科)

1L-01 寄生虫症:臨床医から寄生虫学の研究・教育者の先生方へ

鈴鹿医療科学大・保健衛生・救急救命

○大西 健児

1L-02 病理組織に出現する寄生虫の同定

大分大・医・医学生物学

○長谷川 英男

1日目 第2会場
Day 1, Room 2

シンポジウム① Symposium ① 17:00~18:30

「生態学会 - 寄生虫学会: 寄生虫あつての生態系!」

“The Ecological Society of Japan-The Japanese Society of Parasitology:

Our World is Made of Parasites!”

座長 倉持 利明(目黒寄生虫館)

1S-01 森と川をつなぐ細い糸: 寄生虫ハリガネムシに入水させられた宿主昆虫が溪流魚を育む

京都大・生態学研究センター

○佐藤 拓哉

1S-02 病気を起こさない寄生虫を調べて何が楽しいのか? 生態学的研究のあらましと今後の展望

麻布大・生命・環境科学

○片平 浩孝

1S-03 琵琶湖の寄生虫相の成立 ~固有種・外来種・絶滅種~

滋賀県立大・環境科学・環境生態学

○浦部 美佐子

2日目 第2会場
Day 2, Room 2

シンポジウム② Symposium ② 10:10~11:40

「世界をリードする日本発の寄生虫フィールド研究：達成とさらなる課題」

“World-leading Field Parasite Research from Japan: Achievements and Challenges”

座長 金子 明(大阪公立大・医・寄生虫学)

2S-01 From a longing for field research

長崎大・熱研・寄生虫学

○濱野 真二郎

2S-02 Leishmaniac: Field to Lab & Lab to Field

自治医大・感染・免疫学・医動物学

○加藤 大智

2S-03 Insights from observational and interventional studies on malaria in the Lake Victoria Basin of Kenya

長崎大・熱研・生態疫学

○加賀谷 渉

2S-04 Antimalarial drug resistance in Africa: why and how?

順天堂大・医・熱帯医学・寄生虫病学

○美田 敏宏

海外招待講演 Overseas Invited Lecture 12:00~13:00

座長 Richard Culleton(愛媛大・プロテオサイエンスセンター)

2L-01 Playing hide-and-seek with malaria parasites

Department of Parasitology, Institute of Biomedical Sciences, University of São Paulo

○Marcelo U. Ferreira

1日目 第1会場
Day 1, Room 1

ベストプレゼンテーション賞(BPA) 9:00~10:30

座長 関 まどか(岩手大・農・獣医寄生虫)、 城戸 康年(大阪公大・医・ウイルス・寄生虫)

- BPA-01** ゲノミクスが解き明かす日本のエキノコックスの正体:エキノコックス症コントロールを目指した集団遺伝学的アプローチ
北大・獣医・寄生虫¹⁾、宮崎大・農・獣医寄生虫病²⁾、北海道衛研・感染症部³⁾、遺伝研・生態遺伝⁴⁾、京大・ヒト行動進化研究センター⁵⁾
○林 直樹¹⁾、中尾 亮¹⁾、尾針 由真¹⁾、水谷 雄基¹⁾、Sangarun Kanyatip¹⁾、入江 隆夫²⁾、孝口 裕一³⁾、日高 正人³⁾、松山 紘之³⁾、木下 豪太⁴⁾、岡本 宗裕⁵⁾、八木 欣平¹⁾、野中 成晃¹⁾
- BPA-02** 分子遺伝学的手法による分類によって明らかになったカワニナを宿主とする二生吸虫の群集構造
高知大院・農林海洋¹⁾、高知大・農林海洋²⁾
○瀧澤 柊¹⁾、三浦 収²⁾
- BPA-03** *Plasmodium berghei*の新規オーシスト壁構成タンパク質の探索
北里大・獣医・寄生虫
○原口 麻子、平田 るりこ、中山 和彦、箱崎 純、中村 咲蓮、草木迫 浩大、筏井 宏実
- BPA-04** Type I rosetting of Plasmodium knowlesi-infected red blood cells
長崎大院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科¹⁾、長崎大熱帯医学研究所原虫学²⁾、長崎大院医歯薬学総合研究科³⁾、実験霊長類生産研究法人(茨城県)⁴⁾、獨協医科大熱帯医学・寄生虫学⁵⁾、オタゴ大、微生物学および免疫学部、ニュージーランド⁶⁾、長崎大熱帯医学研究所中央研究所⁷⁾
○エゼンワンネ チュクマ¹⁾、Chuang Huai^{2,3)}、成瀬 妙子^{1,2,3)}、安達 祐子⁴⁾、川合 覚⁵⁾、ラッセル ブルース⁶⁾、坂口 美亜子⁷⁾、金子 修^{1,2,3)}
- BPA-05** Droplet digital PCR を用いた赤痢アメーバ定量 PCR 検出系の最適化の検討
国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター¹⁾、国立感染症研究所・寄生動物部²⁾、熊本大院 医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター³⁾、スタンフォード大 感染症科⁴⁾
○川島 亮^{1,2,3)}、柳川 泰昭^{1,2,4)}、下河原 理江子²⁾、八木田 健司²⁾、湯永 博之^{1,3)}、渡辺 恒二^{1,2,3)}

1日目 第2会場
Day 1, Room 2

一般口演 14:10~14:58 分類・分子系統①

座長 関 まどか(岩手大・農・獣医寄生虫)

- 1A-01 日本で発見された *Spirometra* 属の新種、*Spirometra asiana* について
国立感染研・寄生動物
○山崎 浩、杉山 広、森嶋 康之
- 1A-02 九州の動物展示施設のクマから検出された鉤虫と旋毛虫
熊本県阿蘇保健所¹⁾、岐阜大・応生²⁾、株式会社阿蘇熊牧場³⁾、日獣大・獣医⁴⁾
○松尾 加代子^{1,2)}、竹内 由佳³⁾、常盤 俊大⁴⁾、高島 康弘²⁾
- 1A-03 日本の有尾類に寄生するカエルハイセンチュウ属 *Rhabdias* の種多様性
京大・地球環境¹⁾、フィリピン大・理²⁾、滋賀県大・環境³⁾、京大・人環⁴⁾
○土田 華鈴¹⁾、マルカイダ J.B. アービン²⁾、浦部 美佐子³⁾、西川 完途^{1,4)}
- 1A-04 テナガダコから得られた大型の未成熟線虫について(続報)
目黒寄生虫館¹⁾、北里大海洋生命科学部²⁾、沖縄美ら島財団³⁾、姫路市保健所衛生課⁴⁾
○倉持 利明¹⁾、高野 剛史¹⁾、佐田 直也¹⁾、筒井 繁行²⁾、荒河 凜²⁾、中村 修²⁾、東 直人³⁾、村雲 清美³⁾、伊藝 元³⁾、正岡 聖史⁴⁾、岡田 裕子⁴⁾

一般口演 15:10~15:46 ゲノム解析・進化

座長 菊地 泰生(東大院・先端生命・多細胞生物システム)

- 1A-05 ディプロモナス類の寄生虫化に伴う遺伝子レパートリーの変化:近縁自由生活種とのオルソログ比較解析
筑波大・医学医療¹⁾、筑波大・生物学学位プログラム²⁾、筑波大・生物科学専攻³⁾、科博・動物⁴⁾、京都大・院農⁵⁾、筑波大・計算科セ⁶⁾、筑波大・生命環境⁷⁾
○久米 慶太郎¹⁾、若島 朋幸²⁾、巖 翼²⁾、岩本 亮介³⁾、井上 貴史³⁾、谷藤 吾朗⁴⁾、神川 龍馬⁵⁾、稲垣 祐司^{2,3,6)}、橋本 哲男^{2,3,7)}
- 1A-06 *Giardia intestinalis* とその自由生活性近縁種における Acetyl-CoA Synthetase (ACS) の比較解析
筑波大・生物学学位プログラム¹⁾、筑波大・教育研究科²⁾、筑波大・教育学学位プログラム³⁾、筑波大・医学医療⁴⁾、筑波大・生命環境⁵⁾、医療創生大・薬⁶⁾
○小金丸 利隆^{1,6)}、田村 嘉孝²⁾、星 康貴³⁾、久米 慶太郎⁴⁾、橋本 哲男^{1,2,3,5)}、奈良 武司⁶⁾
- 1A-07 多数の虫体が検出されたマンソン孤虫症
宮崎大・医・寄生虫¹⁾、徳島大・医・皮膚科²⁾
○田中 龍聖¹⁾、田中 美緒¹⁾、山崎 佳那子²⁾、長安 英治¹⁾、久保 宜明²⁾、丸山 治彦¹⁾

座長 佐藤 宏(山口大・獣医・寄生虫)

- 1A-08** 九州地域の野生獣肉における住肉孢子虫の保有状況
 宮崎大・農・獣医¹⁾、宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター²⁾、宮崎大・医・医³⁾、北海道大・獣医・基礎獣医科学⁴⁾、北海道大・農・アグリメディカル⁵⁾、北海道大・One Health リサーチセンター⁶⁾、岩手大・農・共同獣医⁷⁾
 渡部 峻也¹⁾、○入江 隆夫^{1,2)}、和田 啓³⁾、中村 鉄平^{4,5)}、市居 修^{4,5,6)}、山崎 朗子⁷⁾、吉田 彩子^{1,2)}
- 1A-09** Seroprevalence of *Toxoplasma gondii* and *Paragonimus westermani* antibodies in wild boar in Miyazaki, Japan.
 Dept. of Vet. Parasit. Dis., Fac. of Agr., Univ. of Miyazaki¹⁾、CADIC, Univ. of Miyazaki²⁾
 OLE THI LAN ANH¹⁾、SAKAMOTO NAOKO^{1,2)}、IRIE TAKAO^{1,2)}、YOSHIDA AYAKO^{1,2)}
- 1A-10** 長野県の野生イノシシより検出された有鉤条虫 *Taenia solium* の系統学的位置づけ
 北大・獣医・寄生虫¹⁾、長野県松本家保²⁾、長野県林業大学校³⁾
 林 直樹¹⁾、桑本 亮²⁾、岡田 充弘³⁾、鈴木 健太²⁾、八木 欣平¹⁾、○中尾 亮¹⁾、野中 成晃¹⁾

1日目 第3会場
Day 1, Room 3

一般口演 14:10~14:58 宿主応答・病態①

座長 村越 ふみ(東北大学・学際研)

- 1B-01** ヒト iPS 由来肝細胞を用いた感染プラットフォームの構築
信州大・医・公正研究¹⁾、長崎大・熱研・免疫制御²⁾、長崎大・熱研・臨床開発³⁾、長崎大・熱研・細胞環境⁴⁾
○片上 幸美^{1,2)}、水上 修作²⁾、中前 早百合³⁾、谷口 真由美²⁾、簡 君宇²⁾、徳舛 富由樹⁴⁾
- 1B-02** 膜構成リン脂質アシル鎖領域に発生するパッキングストレスと膜タンパク質との相互作用に対する生物物理学的解析の確立
自治医大・感染免疫・医動物学¹⁾、福井大・医学部・分子神経科学²⁾、Dept. of Physics, Portland State Univ.³⁾、福井大・高エネルギー医学研究センター⁴⁾、長崎大・熱研・細胞環境構築学⁵⁾
○早川 枝李¹⁾、植木 美鈴²⁾、Elmukhtar Alhatmi³⁾、老木 成稔⁴⁾、徳舛 富由樹⁵⁾、Mitchell Drake C.³⁾、岩本 真幸²⁾
- 1B-03** アクリルアミドの長期間曝露は、マウスマラリアモデルにおいて脳と肺の病態を悪化させる。
群馬大・医・生体防御¹⁾、国立熱帯病病院(ベトナム)²⁾、群馬大・医・放射線診断核医学³⁾、群馬大・医・病理⁴⁾、感染研・寄生動物⁵⁾、感染研・薬剤耐性研究センター⁶⁾、感染研・感染制御⁷⁾
Ngo-Thanh Ha^{1,2)}、Tang Dam Thuy³⁾、鈴江 一友¹⁾、横尾 英明⁴⁾、磯田 浩二⁴⁾、下川 周子⁵⁾、久枝 一⁵⁾、○今井 孝^{1,5,6,7)}
- 1B-04** $\gamma\delta$ T 細胞は Plasmodium chabaudi 感染において I 型古典的樹状細胞の成熟を誘導して抗原特異的 CD4+ T 細胞の Th1 分化を促進する
長崎大・院・医歯薬・免疫学¹⁾、長崎大・熱医グローバルヘルス²⁾、長崎大・熱研・シオノギグローバル感染症³⁾
Ibraheem Yarob¹⁾、Bayarsaikhan Ganchimeg¹⁾、Maccalino Lourdes Maria^{1,2,3)}、木村 一美¹⁾、由井 克之^{2,3)}、○井上 信一¹⁾

一般口演 15:10~15:58 宿主応答・病態②

座長 今井 孝(感染研・寄生動物)

- 1B-05** 内臓型リーシュマニア症妊娠マウスにおける胎盤変性を伴う垂直感染
東大・院農・応用免疫
○溝淵 悠代、三條場 千寿、後藤 康之
- 1B-06** SIRP α の細胞外領域を切断するリーシュマニア由来因子の解析
東大・農・応用免疫¹⁾、長崎大・熱帯医学研究所²⁾、東大・農・実験動物学³⁾
○平井 花¹⁾、渡辺 陸斗¹⁾、ホン ジン²⁾、藤井 涉³⁾、三條場 千寿¹⁾、後藤 康之¹⁾

- 1B-07 *Leishmania donovani* 感染マウス脾臓における BAFF 産生細胞は CD11b⁺マクロファージである
東大・院農・応動
○長井 和貴、三條場 千寿、後藤 康之
- 1B-08 皮膚リーシュマニア持続感染ウイルスがリーシュマニアのマウスへの病原性に与える影響の解析
東北大・学際研¹⁾、東北大・院農・動物環境管理学²⁾、東大・農・応用免疫³⁾、京都府立医大・感染病態⁴⁾
○村越 ふみ^{1,2)}、後藤 康之³⁾、三條場 千寿³⁾、中屋 隆明⁴⁾、松本 芳嗣³⁾、加藤 健太郎²⁾

一般口演 16:05~16:53 宿主応答・病態③

座長 安田 好文(兵庫医大・免疫)

- 1B-09 微小重力下での日和見感染症に関わる宿主細胞の変化の解析
東北大・農・動物環境管理学¹⁾、東京慈恵医大・宇宙航空医学²⁾、帯広畜産大・獣医解剖学³⁾、東北大・学際研⁴⁾
○山田 剛史¹⁾、暮地本 宙己²⁾、近藤 大輔³⁾、村越 ふみ^{1,4)}、加藤 健太郎¹⁾
- 1B-10 *Trypanosoma cruzi*は宿主 processing body 形成を誘導して自然免疫応答を抑制する
群大・院医・教育研究支援セ・教育研究部門¹⁾、群大・院医・医学教育開発学²⁾、群大・未来先端研・統合腫瘍学³⁾、群大・院保・生体情報検査科学⁴⁾
○瀬戸 絵理¹⁾、喜名 振一郎²⁾、川端 麗香³⁾、鈴木 万紀子⁴⁾、鬼塚 陽子⁴⁾、嶋田 淳子⁴⁾
- 1B-11 The role of antibodies against distinct developmental stage of *Trichinella spiralis*
岐阜大・医・寄生虫
○クエアンチアンワン スコンティップ、呉 志良、前川 洋一
- 1B-12 住血吸虫の抗関節炎効果における好酸球や ILC-2 の役割
産業医大・医・免疫学寄生虫学
○長田 良雄、岡田 峻、森田 健太郎、清水 少一

1日目 第4会場
Day 1, Room 4

一般口演 14:10~15:10 寄生成立・寄生胞膜

座長 新澤 直明(東京医歯大・院・寄生虫熱帯医学)

- 1C-01 トキソプラズマ GRA25 の寄生胞膜の形態および宿主細胞破壊への関与
福岡大・理¹⁾、帯畜大・原虫研²⁾、岐阜大・応用生物³⁾、久留米大・分子生命⁴⁾
錦織 充広¹⁾、Chen Yu²⁾、下田 直美²⁾、西 翔平¹⁾、正谷 達膳³⁾、伴 匡人⁴⁾、小柴 琢己²⁾、○西川 義文²⁾
- 1C-02 トキソプラズマの脱出を規定する新規マイクロネームタンパク質の同定
大阪大・微研・感染病態¹⁾、大阪大・免フロ・免疫寄生虫²⁾
○橘 優汰^{1,2)}、山本 雅裕^{1,2)}
- 1C-03 ネオスポラ感染による単球のミトコンドリア損傷と IL-1 β 産生は GRA7 とプロヒビチンの相互作用が関与する
帯畜大・原虫研¹⁾、微化研²⁾、福岡大・理³⁾
○Chen Yu¹⁾、下田 直美¹⁾、二瓶 浩一²⁾、錦織 充広³⁾、中村 柊¹⁾、小柴 琢己³⁾、潮(渡邊) 奈々子¹⁾、西川 義文¹⁾
- 1C-04 マラリア原虫肝細胞ステージの発育に関わる宿主側因子の探索
東京医科歯科大、寄生虫学・熱帯医学¹⁾、愛媛大 プロテオサイエンスセンター²⁾、徳島大 先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター³⁾
秋山 桃歌¹⁾、新澤 直明¹⁾、馬場 みなみ¹⁾、澤崎 達也²⁾、小迫 英尊³⁾、○石野 智子¹⁾
- 1C-05 赤血球期マラリア原虫における RON3C 末端断片の機能解析
鳥取大・医・医動物¹⁾、愛媛大・PROS・マラリア研究²⁾、神戸大院・保健・国際感染症対策³⁾、ブラパ大・理・生物⁴⁾、愛媛大・PROS・寄生病原体学⁵⁾
○伊藤 大輔¹⁾、近藤 陽子¹⁾、高島 英造²⁾、入子 英幸³⁾、Thongkukiatkul Amporn⁴⁾、鳥居 本美⁵⁾、大槻 均¹⁾

一般口演 15:20~16:32 シスト形成・分化誘導

座長 林 慶(岡山理大・獣医・医動物)、 見市 文香(長崎大・熱研・共同研)

- 1C-06 赤痢アメーバシスト形成におけるコレステロール硫酸の機能解析
長大・熱研・共同研¹⁾、佐大・医・免疫学²⁾、農工大・GIR³⁾、理研・IMS・メタボローム⁴⁾、横市大院・生命医・代謝エピゲノム⁵⁾、慶大・薬・代謝生理化学⁶⁾
○見市 文香^{1,2)}、津川 裕司^{3,4,5)}、有田 誠^{4,5,6)}、吉田 裕樹²⁾
- 1C-07 Expression and localization analyses of *Entamoeba invadens* cyst wall proteins-Jacob, Jessie and chitinase-during encystation
長崎大・熱研・共同研¹⁾、佐賀大・医・免疫学²⁾
○Vo Kha Tam^{1,2)}、吉田 裕樹²⁾、見市 文香^{1,2)}

- 1C-08 臨床より分離された薬剤耐性腔トリコモナスの嚢子様構造形成と薬剤耐性能の獲得について
千葉大・医・感染生体防御学¹⁾、杏林大・医・感染症学²⁾、順天大・院医・神経機能構造学³⁾、感染研・
寄生動物部⁴⁾、千葉大・院医・生殖医学⁵⁾、千葉大・医・附属病院薬剤部⁶⁾、千葉大・真菌医学研究
セ・進化生殖学⁷⁾
○Lin Xiaoxia X¹⁾、坂本 寛和¹⁾、新倉 保²⁾、横田 睦美³⁾、中野 由美子⁴⁾、Wang
Sichang T¹⁾、糸山 頌理⁵⁾、金子 明夏⁵⁾、甲賀 かをり⁵⁾、山崎 香織⁶⁾、生水 真紀夫^{5,7)}、
彦坂 健児¹⁾
- 1C-09 血流型 *Trypanosoma brucei* におけるクオラムセンシングと分化誘導の起点となる解糖系
酵素の探索
大阪公立大・院・農学¹⁾、九州大・生医研²⁾
○岡田 哲也¹⁾、高橋 政友²⁾、馬場 健史²⁾、乾 隆¹⁾
- 1C-10 糸虫 *Mesocestoides vogae* テトラチリジウムの宿主血清 HDL による無性生殖の開始
岐阜大・獣医・寄生虫¹⁾、岐阜大・獣医・感染症²⁾、岡山理大・獣医・医動物³⁾
○榊原 秀雄¹⁾、齋藤 大蔵²⁾、林 慶³⁾、高島 康弘¹⁾
- 1C-11 糸虫 *Mesocestoides vogae* テトラチリジウムの成虫化における Venom Allergen-Like
Proteins 2 の解析
岡山理大・獣医・医動物¹⁾、愛媛大・PROS・マラリア研究²⁾、岐阜大・獣医・寄生虫³⁾
○林 慶¹⁾、井内 うの¹⁾、巢瀬 哲矢¹⁾、山崎 温子¹⁾、森田 将之²⁾、高島 英造²⁾、高島 康弘³⁾、
黒木 俊郎¹⁾、柴原 壽行¹⁾

2日目 第2会場
Day 2, Room 2

一般口演 9:00～ 9:36 分類・分子系統②

座長 岡本 宗裕(京都大・ヒト行動進化研)

- 2A-01** On the evolutionary scenario of Strongyloides spp. of primates: discovery of a novel member in the stercoralis-procyonis clade in Gabon
宮崎大・医・寄生虫¹⁾、Unit of Research in Ecology of Health (URES), International Centre for Medical Research of Franceville (CIRMF), Gabon²⁾、Research Institute for Tropicale Ecology (IRET/CENAREST), Gabon³⁾、Department of Anthropology, Durham University, UK⁴⁾
○長安 英治¹⁾、Makouloutou-Nzassi Patrice^{2,3)}、Boundenga Larson^{2,4)}、丸山 治彦¹⁾
- 2A-02** ヒトの鞭虫症の感染源に関する研究:福島市の野生ニホンザルの鞭虫の解析
麻布大・生命環境・国際コミュニケーション¹⁾、日本獣医生命科学大・獣医・獣医寄生虫学²⁾、日本獣医生命科学大・獣医・野生動物学³⁾、国立感染症研究所・寄生動物⁴⁾、長崎大・熱研・寄生虫学⁵⁾
○城山 光子¹⁾、常盤 俊大²⁾、加藤 卓也³⁾、杉山 広⁴⁾、濱野 真二郎⁵⁾、羽山 伸一³⁾
- 2A-03** 鯨類への感染源としてのクラシカウダ属線虫(旧旋尾線虫タイプX)幼虫の宿主探索
東京医歯大・院・寄生虫学熱帯医学¹⁾、科博・動物・脊椎動物²⁾、東農大・生物産業・海洋水産³⁾
○熊谷 貴¹⁾、塩崎 彬²⁾、小林 駿³⁾、田島 木綿子²⁾、石野 智子¹⁾

一般口演 9:45～10:09 クロマチン・転写制御

座長 宮崎 真也(長崎大・熱研・細胞環境)

- 2A-04** マラリア原虫雄性生殖母体形成におけるクロマチンリモデリング因子 gSNF2 と PbARID の役割
三重大・医・医動物¹⁾、大阪大・微研・分子原虫²⁾
○西 翔¹⁾、金子 伊澄¹⁾、岩永 史朗²⁾、油田 正夫¹⁾
- 2A-05** 熱帯熱マラリア原虫における AP2-G の転写制御晒列
阪大・微研・分子原虫
○中嶋 舞、岩永 史朗

一般口演 14:00~15:00 生化学①

座長 麻田 正仁(帯広畜産大・原虫病研)

- 2A-06** マラリア原虫赤内期の解糖系酵素の動態解析
 長崎大・熱研・細胞環境¹⁾、長崎大・院・熱医グローバルヘルス²⁾、長崎大・熱研・分感ダ³⁾、東大・院医・生医化⁴⁾
 ○石井 隆太^{1,2)}、○佐倉 孝哉^{2,3)}、稲岡 健ダニエル^{2,3,4)}、徳舛 富由樹¹⁾
- 2A-07** 赤痢アメーバの肝膿瘍形成に必要な遺伝子の探索
 感染研・寄生動物¹⁾、国立国際医療研究セ・ACC²⁾、スタンフォード大³⁾
 ○中野 由美子¹⁾、泉山 信司¹⁾、小林 正規¹⁾、梅木 優子¹⁾、柳川 泰昭^{2,3)}、川島 亮²⁾、渡辺 恒二²⁾
- 2A-08** トキソプラズマ新規抗宿主免疫因子の同定と機能解析
 大阪大 微生物病研究所 感染病態¹⁾、大阪大 免疫学フロンティア研究センター 免疫寄生虫学²⁾
 ○端崎 恵巳¹⁾、橘 優汰¹⁾、笹井 美和^{1,2)}、山本 雅裕^{1,2)}
- 2A-09** リゾリン脂質アシル転移酵素(*Pf* LPLAT1)は赤内期熱帯熱マラリア原虫(*P. falciparum*)の細胞周期進行とサイトストーム細胞内移行に必須である
 長崎大熱帯医学研究所・細胞環境構築学¹⁾、東京大医学研究科リポドミクス社会連携²⁾、自治医科大医学部・感染免疫学・医動物学部門³⁾、長崎大熱帯医学研究所・分子感染ダイナミクス解析⁴⁾、長崎大院・熱帯医学・グローバルヘルス研究科⁵⁾、長崎大熱帯医学研究所・宿主病態解析部門・感染生化学⁶⁾、東京大院医学系研究科・国際保健学専攻・生物医化学⁷⁾、名古屋大・未来材料・システム研究所・超高压電子顕微鏡施設⁸⁾、国際医療研究センター研究所・脂質生命科学部⁹⁾、東京大院医学系研究科・脂質医科学¹⁰⁾
 ○福本 隼平¹⁾、吉田 益奈子¹⁾、徳岡 涼美²⁾、早川 枝李³⁾、宮崎 真也¹⁾、佐倉 孝哉⁴⁾、稲岡 健ダニエル⁴⁾、北 潔^{5,6,7)}、臼倉 治郎⁸⁾、進藤 英雄^{9,10)}、徳舛 富由樹¹⁾
- 2A-10** 熱帯熱マラリア原虫の未成熟生殖母体期の SBP1 は PfHSP70 と相互作用する
 神戸大院・保健・国際感染症対策¹⁾、神戸大・医学・保健²⁾、神戸大・バイオシグナル総合研究センター³⁾、愛媛大・PROS・寄生病原体学⁴⁾、東京医科歯科大・寄生虫学熱帯・熱帯医学⁵⁾、鳥取大・医・医動物学⁶⁾、愛媛大・PROS・マラリア研究⁷⁾
 ○面田 彩馨¹⁾、松本 香乃実²⁾、吉野 健一³⁾、橘 真由美⁴⁾、石野 智子⁵⁾、伊藤 大輔⁶⁾、大槻 均⁶⁾、坪井 敬文⁷⁾、鳥居 本美⁴⁾、入子 英幸¹⁾

一般口演 15:10~15:58 生化学②

座長 森田 将之(愛媛大・PROS・マラリア研究)

- 2A-11** Essential role of Pleckstrin Homology domain-containing protein 1 (PH1) in AMA1 secretion during erythrocyte invasion by *Plasmodium yoelii*
Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, Japan¹⁾、
Dept. of Protozoology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Japan²⁾、
Leading Program, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, Japan³⁾
○Tun Thant Zin^{1,2)}、Chaiyawong Nattawat^{2,3)}、Ishizaki Takahiro^{2,3)}、Asada Masahito^{2,3)}、
Yahata Kazuhide^{1,2)}、Baba Minami^{1,2)}、Kaneko Osamu^{1,2,3)}
- 2A-12** *Babesia bovis* SBP3 は感染赤血球表面における Ridge 形成に重要な役割を持つ
帯広畜産大・原虫病研究センター¹⁾、長崎大・熱帯医学研究所²⁾、Texas A&M University・
College of Veterinary Medicine³⁾
Fathi Atefeh¹⁾、坂口 美亜子²⁾、Hakimi Hassan^{1,3)}、○麻田 正仁¹⁾
- 2A-13** トリパノソーマの UPR およびオルガネラ合成における選別レセプターの機能
微化研¹⁾、松山大・薬²⁾
○二瓶 浩一¹⁾、中西 雅之²⁾、飯島 正富¹⁾、五十嵐 雅之¹⁾、清水 孝雄¹⁾
- 2A-14** Effect of salinity on *Fasciola* egg hatchability, miracidia infectivity and metacercaria productivity
東大・院農・国際動物資源科学¹⁾、東大・院農・地球規模感染症制御学²⁾
○Dang Thi Loan¹⁾、松本 安喜^{1,2)}

一般口演 16:10~17:10 実験系・評価系の新規確立

座長 坂本 寛和(千葉大・医・感染生体防御)

- 2A-15** 透明化技術を用いた住血吸虫感染員の解析
奈良医大・医・病原体・感染防御医学¹⁾、長崎大・熱研・寄生虫²⁾
○王寺 幸輝¹⁾、濱崎 めぐみ²⁾、三須 政康¹⁾、北村 知嵩¹⁾、笠松-西村 知子¹⁾、中村 梨少²⁾、
濱野 真二郎²⁾、吉川 正英¹⁾
- 2A-16** 腸管寄生性原虫赤痢アメーバ原虫におけるゲノム編集技術開発
感染研・寄生動物¹⁾、東大・院医・生物医化学²⁾
○津久井 久美子^{1,2)}、柴田 久美子^{1,2)}
- 2A-17** 肝臓チップを用いたマラリア原虫スポロゾイトの肝臓感染評価系の確立
東医歯大・院医歯・寄生虫学・熱帯医学¹⁾、京大・iPS 細胞研究所・増殖分化機構研究部門²⁾、
AMED-CREST³⁾
○岡田 玲那¹⁾、出口 清香²⁾、馬場 みなみ¹⁾、新澤 直明¹⁾、高山 和雄^{2,3)}、石野 智子¹⁾

- 2A-18 肝蛭の *in vitro* 培養系確立への挑戦—幼虫は *in vitro* でどこまで成長するか？—その1
岩手大・農・獣医寄生虫¹⁾、慶応大・商・生物学²⁾、弘前大・農学生命科学³⁾
北島 ちひろ¹⁾、関井 清乃²⁾、坂元 君年³⁾、小林 一也³⁾、関 まどか¹⁾
- 2A-19 肝蛭の *in vitro* 培養系確立への挑戦—幼虫は *in vitro* でどこまで成長するか？—その2
岩手大・農・獣医寄生虫¹⁾、慶應大・商・生物学²⁾、弘前大・農学生命科学³⁾
○大野 楽弥¹⁾、関井 清乃²⁾、坂元 君年³⁾、佐藤 雪太¹⁾、小林 一也³⁾、関 まどか¹⁾

2日目 第3会場
Day 2, Room 3

一般口演 9:00~10:12 薬剤開発

座長 和田 章(理研・生命機能科学)、 稲岡 ダニエル健(長大・熱研・分子感染)

- 2B-01** Identification of major compound in Chinese herbal medicine possessing antimalarial activity
Laboratory of Veterinary Infectious Diseases, Cooperative Department of Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology¹⁾, Graduate School of Advanced Science and Engineering, Waseda University²⁾, Division of Medical Zoology, Department of Infection and Immunity, Jichi Medical University³⁾, Iskra Industry Co., Ltd.⁴⁾, Research Institute for Science and Engineering, Waseda University⁵⁾
○Tamakloe Esther Afi Dzigbordi¹⁾, Cong Ha My¹⁾, Akizuki Kota²⁾, Hayakawa Eri Saki H.³⁾, Shinohara Yuta⁴⁾, Nakao Yoichi^{2,5)}, Furuya Tetsuya¹⁾
- 2B-02** トリプトファンを被膜した酸化鉄ナノ粒子が持つ抗トキソプラズマ効果の解析
東北大・院農・動物環境管理¹⁾、東北大・院工・電気電子²⁾、旭川医大・医・寄生虫学³⁾
○石井 昂世¹⁾、アデエミ オルヨミ¹⁾、赤星 栄治²⁾、伴戸 寛徳^{1,3)}、福田 康弘¹⁾、小川 智之²⁾、加藤 健太郎¹⁾
- 2B-03** 新しいハイスループットスクリーニング法による速効性抗マラリア活性化化合物探索系の構築
長大・熱研・分子感染ダイナミクス解析¹⁾、長大・熱帯医学・グローバルヘルス研究科²⁾、長大・熱研・細胞環境構築学³⁾、創薬疾患研・塩野義製薬⁴⁾、長大・熱研・感染生化学⁵⁾、東大・院・医・生物医化学⁶⁾、長大・熱研・創薬探索研究⁷⁾
佐倉 孝哉^{1,2)}、石井 隆太^{3,4)}、吉田 衣里¹⁾、北 潔^{2,5,6)}、加藤 輝久^{4,7)}、○稲岡 ダニエル健^{1,2,6)}
- 2B-04** 合成 2,5-ジフェニルオキサゾール誘導体の抗マラリア効果の検証
帯広畜大・原虫研¹⁾、東北医薬大・薬²⁾
○アリフタ ナナン ルディアント¹⁾、成田 紘一²⁾、村田 敏拓²⁾、西川 義文¹⁾
- 2B-05** *Trypanosoma congolense* 感染マウスにおける α -Tocopheryloxy acetic acid の効果
帯畜大・原虫研
○倉本 樹、川村 香純、久米 愛子、菅沼 啓輔、白藤 梨可、笠井 俊二、鈴木 宏志
- 2B-06** カーボンナノ粒子キャリアーを用いたリーシュマニア TSA 抗原免疫マウスにおける防御免疫誘導
東大・院農・国際動物資源科学¹⁾、東大・院農・木材物理学²⁾、東大・院農・地球規模感染症制御学³⁾
○上田 和佳¹⁾、斎藤 幸恵²⁾、松本 安喜^{1,3)}

一般口演 14:00~14:36 生態学

座長 浦部 美佐子(滋賀県立大・環境)

- 2B-07 淡水魚類に寄生する新たな外来腹口吸虫の侵入について
東邦大¹⁾、日本大²⁾、地球・人間環境フォーラム³⁾、水産研究・教育機構⁴⁾
齊藤 佳希¹⁾、岩田 翔¹⁾、林 詩人¹⁾、石川 孝典²⁾、萩原 富司³⁾、新田 理人⁴⁾、間野 伸宏²⁾、○脇 司¹⁾
- 2B-08 絶滅危惧種の寄生虫について～トキウモウダニは日本から絶滅したのか？
法政大・自然科学セ¹⁾、東邦大・理²⁾
○島野 智之¹⁾、脇 司²⁾
- 2B-09 GISによる小櫃川流域におけるミヤイリガイの時空間的環境解析と生息域の推定
麻布大・獣医・寄生虫¹⁾、国立感染研・昆虫医科学²⁾、熊本大・院人文社会科学・地理学³⁾
○二瓶 直子^{1,2)}、米島 万有子³⁾、駒形 修²⁾、平 健介¹⁾

一般口演 14:50~15:38 疫学①

座長 川合 覚(獨協医大・熱帯病寄生虫)

- 2B-10 国内の肉用鶏生産地である宮崎県でのアイメリア属原虫の分子疫学調査と生産性評価
大阪公立大・獣医¹⁾、宮崎くみあいチキンフーズ株式会社²⁾、コーキン化学株式会社³⁾
○古家 千栄¹⁾、黒田 萌黄²⁾、今中 洋平³⁾、白神 智子¹⁾、朝間 典子¹⁾、松林 誠¹⁾
- 2B-11 ラオスの森林減少が熱帯熱および三日熱マラリア原虫の分布に及ぼす影響：地球観測衛星を用いた空間疫学的研究
国立国際医療研究セ・研・熱帯医学・マラリア研¹⁾、聖路加大・院・公衆衛生²⁾、宇宙航空研究開発機構・地球観測研究セ³⁾
○松本-高橋 エミリー^{1,2)}、佐々木 喜信³⁾、大吉 慶³⁾、石上 盛敏¹⁾、狩野 繁之¹⁾
- 2B-12 Malaria outbreak in malaria free remote villages in Laos
Institut Pasteur du Laos (IPL), Vientiane, Laos¹⁾、Laos SATREPS Malaria and Parasitology Project 2022-2028²⁾、Center of Malariology, Parasitology and Entomology (CMPE), Vientiane, Laos³⁾、National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan⁴⁾
○Khattignavong Phonepadith^{1,2)}、Soundala Pheovaly^{1,2)}、Lassachack Phinnakone^{2,3)}、Phommasansack Manisack^{2,3)}、Vanouvong Virasack^{2,3)}、Buchy Philippe^{1,2)}、Kano Shigeyuki⁴⁾、Iwagami Moritoshi^{1,2,4)}
- 2B-13 ウガンダ北部の集落における薬剤耐性マラリア調査のためのコホート研究
順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、グル大・医・生化学²⁾、グル大・医・微生物³⁾
○久保 誠¹⁾、バリカガラ ベティ¹⁾、吉田 菜穂子¹⁾、アリオニーアニューワ デニス²⁾、オドンゴーアギニャ エマニュエル³⁾、美田 敏宏¹⁾

一般口演 15:45~16:21 疫学②

座長 松林 誠(大阪公大・獣医免疫)

- 2B-14** Genetic Diversity and Prevalence of *Endolimax nana* in the Human Intestine
金沢大・医・国際感染症¹⁾、Dept. of Parasitol., Fac. Med., Hasanuddin Univ., Indonesia²⁾
Afriani Mustamir Aulia¹⁾、OZhu Nan¹⁾、Lacante Siti Arifah¹⁾、Jiang Chuanhao¹⁾、Mizuno Tetsushi¹⁾、Syafuruddin Din²⁾、所 正治¹⁾
- 2B-15** Quantitative Detection of *Echinoparyphium aconiatum* by Environmental DNA-qPCR assay in Lake Chany, Russia
Division of Environmental Dynamics, Graduate school of Environmental Science, the University of Shiga Prefecture¹⁾、2 Department of Ecosystem Studies, Faculty of Environmental Science, the University of Shiga Prefecture²⁾、Institute of Systematics and Ecology of Animals, Siberian Branch of the Russian Academy of Sciences³⁾
O Gacad Janelle Laura¹⁾、Tanabe-Hosoi Shoko²⁾、Yurlova Natalya³⁾、Misako Urabe²⁾
- 2B-16** Uncovering of ocular parasitoses in Myanmar
島根大院医学系研究科微生物学(出雲市)
Oワイ アウンフィヨ

一般口演 16:30~17:06 検査・薬剤標的

座長 熊谷 貴(東京医歯大・院・寄生虫熱帯医学)

- 2B-17** プラジカンテル標的候補分子 TRP チャネルの日本住血吸虫における発現プロファイル解析
帯広畜産大・原虫病研究センター¹⁾、獨協医科大・熱帯病寄生虫病室²⁾、長崎大・熱帯学研究所³⁾、帯広畜産大・共同獣医学部⁴⁾、北海道大・人獣共通感染症国際共同研究所⁵⁾、フィリピン大マニラ校・医学部⁶⁾、カビテ州立大・獣医学部⁷⁾
篠崎 夏歩¹⁾、桐木 雅史²⁾、Wanlop Atcharaphan^{1,3)}、渡邊 謙一⁴⁾、尾針 由真⁵⁾、Ona Kevin⁶⁾、潮 奈々子¹⁾、Macalanda Adrian^{1,7)}、菅沼 啓輔¹⁾、井上 昇¹⁾、O河津 信一郎¹⁾
- 2B-18** Molecular detection and internal transcribed spacer-1 sequence diversity of *Trypanosoma evansi* in goats from Cavite, Philippines
獣医学部・生物医科学部 カビテ州立大¹⁾、獣医学部又エバ ビスカヤ州立大²⁾、寄生虫学熱帯医学研究所長崎大³⁾、医学部フィリピン大マニラ⁴⁾、原虫病研究センター帯広畜産大⁵⁾
Oマカラダ エイドリアンミキクラール^{1,5)}、ガロン エロイザメイサルツア^{1,5)}、モリヨ ヴェルナヂンアルメダ²⁾、ワンロップ アチャラパン^{3,5)}、オナ ケヴィンオスチン^{4,5)}、玄 学南⁵⁾、井上 昇⁵⁾、河津 信一郎⁵⁾、菅沼 啓輔⁵⁾
- 2B-19** 芽殖孤虫の呼吸鎖複合体 I 阻害剤による形態学的変化
日獣・動物生体防御¹⁾、慈恵医大・熱帯医学²⁾、帝京大・医・小児³⁾、慈恵医大・基盤研⁴⁾
O中野 佑理江^{1,2)}、遠海 重裕³⁾、竹村 友希⁴⁾、石渡 賢治²⁾

2日目 第4会場
Day 2, Room 4

一般口演 9:00~10:00 感染機構

座長 伴戸 寛徳(旭川医大・感染症・寄生虫)

- 2C-01 Electrophysiological pore formation during host cell invasion by *Toxoplasma gondii*
アメリカ国立衛生研究所¹⁾、University of Vermont²⁾
○外川 裕人¹⁾、Male Frances²⁾、Jimenez-Munguia Irene¹⁾、Blank Paul¹⁾、
Ward Gary²⁾、Zimmerberg Joshua¹⁾
- 2C-02 ネズミマラリア原虫 *Plasmodium yoelii* EBL 領域 6 の Cys と感染性と局在の解析
鳥取大・医・医動物¹⁾、長崎大・熱研・原虫²⁾、神戸大院・保健・国際感染症対策³⁾、東京医科歯科大・
寄生虫・熱帯医学⁴⁾、愛媛大・PROS・寄生虫⁵⁾、愛媛大・プロテオサイエンスセンター⁶⁾
○大槻 均¹⁾、金子 修²⁾、伊藤 大輔¹⁾、近藤 陽子¹⁾、入子 英幸³⁾、石野 智子⁴⁾、橘 真由美⁵⁾、
坪井 敬文⁶⁾、鳥居 本美⁵⁾
- 2C-03 新規ビオチン化酵素 AirID を用いた近位依存性ビオチン標識法による RON4 相互作用分子の
同定
東医歯大・院医歯・寄生虫学・熱帯医学¹⁾、徳島大・先端酵素学研究所・藤井節郎記念医科学センタ
ー・細胞情報学²⁾、愛媛大・プロテオサイエンスセンター。無細胞生命科学³⁾
○新澤 直明¹⁾、窪田 理恵¹⁾、関根 崇¹⁾、Addo-Gyan Daniel¹⁾、小迫 英尊²⁾、澤崎 達
也³⁾、石野 智子¹⁾
- 2C-04 マラリア原虫スポロゾイトにおけるアスパラギン酸プロテアーゼ Plasmepsin IX の役割
東医歯大・院・寄生虫・熱帯医学¹⁾、愛媛大・PROS・寄生病原体学²⁾
○馬場 みなみ¹⁾、橘 真由美²⁾、鳥居 本美²⁾、石野 智子¹⁾
- 2C-05 マラリア原虫メロゾイトのデンスグラニュール局在タンパク質の免疫電子顕微鏡観察
愛媛大・PROS・マラリア研究¹⁾、東医歯大院・医歯学・国際環境寄生虫病学²⁾、愛媛大・PROS・無
細胞生命科学³⁾
○森田 将之¹⁾、新澤 直明²⁾、坪井 敬文³⁾、高島 英造¹⁾

一般口演 10:05~10:41 薬剤耐性・薬剤評価系

座長 石野 智子(東京医歯大・院・寄生虫熱帯医学)

- 2C-06 東北部コンゴ民主共和国におけるアルテシニン耐性マラリアの分子的証拠
順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、キンシャサ大・医²⁾、国立生物学研究所³⁾、アル病院⁴⁾、アル保健
所⁵⁾
○マモナ デイルフワサヨ パトリック^{1,2)}、バリカガラ ベティ¹⁾、アゲノウン ウチヨパ モイ
ス⁴⁾、アマンガ ジャック⁵⁾、ムンバ ンゴイ ディエドネ^{2,3)}、美田 敏宏¹⁾

- 2C-07 マラリア原虫のシトクロム *b* 遺伝子のアトバコン耐性関連点変異のシングルセル解析
千葉大・医・感染生体防御学
○陳 雪、坂本 寛和、彦坂 健児
- 2C-08 Development of a system evaluating expression of exogenously introduced molecules on infected red blood cell surface by *Plasmodium knowlesi*
Master's program of Biomed. Sci., Leiden Univ. Med. Cent., Leiden Univ., Netherland¹⁾、長崎大・熱研・原虫²⁾、長崎大・院・医歯薬学³⁾、予防衛生協会⁴⁾、獨協医科大・熱帯病寄生虫⁵⁾、長崎大・熱研・共同研⁶⁾
Appelboom Yuka^{1,2,3)}、○莊 准^{2,3)}、片貝 祐子⁴⁾、川合 寛⁵⁾、坂口 美亜子⁶⁾、金子 修^{2,3)}

一般口演 14:00~15:12 ワクチン

座長 高島 英造(愛媛大・PROS・マラリア)、 山本 祐太郎(金沢大・薬・ワクチン)

- 2C-09 三日熱マラリアユニバーサルワクチン開発(マウスモデル)-3種の PvCSP 変異型アレルに対応-
金沢大・薬・ワクチン¹⁾、自治医大・遺伝子治療²⁾、京大・医研³⁾、武蔵野大・薬・免疫生化学⁴⁾
○矢坂 悠人¹⁾、山本 祐太郎¹⁾、水上 浩明²⁾、志田 壽利³⁾、伊従 光洋⁴⁾、吉田 栄人¹⁾
- 2C-10 A Replication-Competent Vaccinia Virus/AAV1-Based malaria vaccine versus RTS, S/AS01E in a Murine Model
金沢大・薬・ワクチン¹⁾、金沢大・医・国際感染²⁾、武蔵野大・薬・免疫生化学³⁾、自治医大・遺伝子治療⁴⁾、京大・医研⁵⁾
○Hasyim Ammar Abdurrahman¹⁾、Zainal Kartika Hardianti¹⁾、山本 祐太郎¹⁾、水野 哲志²⁾、大浦 祐人¹⁾、岡橋 侑渡¹⁾、林 久輝¹⁾、高木 里菜¹⁾、佐藤 侑奈¹⁾、宮浦 茉奈¹⁾、Rasyid Sani Hadiyan¹⁾、伊従 光洋³⁾、水上 浩明⁴⁾、志田 壽利⁵⁾、吉田 栄人¹⁾
- 2C-11 Development of Epitope-Lacking Transgenic Rodent Malaria Parasite as an Approach for Assessing Vaccine Mechanism of Protection
金沢大・薬・ワクチン¹⁾、金沢大・医・寄生虫²⁾、武蔵野大・薬・免疫生化学³⁾、帯畜大・獣医・原虫病研究センター⁴⁾、自治医大・遺伝子治療⁵⁾、京大・医研⁶⁾
○Rasyid Sani Hadiyan¹⁾、村井 駿介¹⁾、奥山 竣介¹⁾、吉田 涼翔¹⁾、水野 哲志^{1,2)}、山本 祐太郎¹⁾、伊従 光洋³⁾、福本 晋也⁴⁾、水上 浩明⁵⁾、志田 壽利⁶⁾、吉田 栄人¹⁾
- 2C-12 組換えトキソプラズマ GRA15 タンパク質の C57BL/6 マウスにおけるトキソプラズマ症予防効果
帯畜大・原虫研
○Hasan Tanjila、下田 直美、中村 柊、潮(渡邊) 奈々子、西川 義文

- 2C-13** BK-SE36/CpG マラリアワクチンの健康な成人と児童を対象としたブルキナファソにおける第1b相臨床試験とその後の追跡調査
 大阪大¹⁾、SEmalvac2 国際共同研究コンソーシアム²⁾
 ○堀井 俊宏¹⁾、パラックパック ニリアン マリー ケリヘロ¹⁾、SEmalvac2 コンソーシアム SEmalvac2 コンソーシアム²⁾
- 2C-14** mRNA ワクチン技術を用いた Pvs25 三日熱マラリア伝搬阻止ワクチンの開発
 Div. Malaria Res., PROS, Ehime Univ.¹⁾、Mahidol Vivax Research Unit, Fac. of Trop. Med., Mahidol Univ.²⁾、Dept of Mol. Trop. Med. Genet., Fac. of Trop. Med., Mahidol Univ.³⁾、Dept of Pathobiol., Fac. of Sci., Mahidol Univ.⁴⁾、Dept of Microbiol., Perelman Sch. of Med., Univ. Penn.⁵⁾、Div. Mol. Parasitol., PROS, Ehime Univ.⁶⁾、Dept of Parasitol. and Trop. Med., TMDU⁷⁾、Acuitas Therapeutics⁸⁾
 ○Takashima Eizo¹⁾、Kunkeaw Nawapol²⁾、Nguitragool Wang^{2,3)}、Kangwanransan Niwat⁴⁾、Muramatsu Hiromi⁵⁾、Tachibana Mayumi⁶⁾、Ishino Tomoko⁷⁾、Lin Paulo JC⁸⁾、Tam Ying K⁸⁾、Pichyangkul Sathit²⁾、Tsuboi Takafumi¹⁾、Pardi Norbert⁵⁾、Sattabongkot Jetsumon²⁾

一般口演 15:20~16:08 疾病コントロール

座長 長安 英治(宮崎大・医・寄生虫)

- 2C-15** Impacts of community knowledge, attitude and practice on prevalence of *Plasmodium falciparum* malaria in Northern Uganda
 順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、グル大・医²⁾
 ○Khin Zar Khing Thein¹⁾、福田 直到¹⁾、久保 誠¹⁾、Anywar Denis Arony²⁾、Balikagala Betty¹⁾、吉田 菜穂子¹⁾、Odongo-Aginya Emmanuel²⁾、美田 敏宏¹⁾
- 2C-16** Low Cysticercosis Infection among Eswatini Community Dwellers: A Cross-Sectional Study in 2019 & 2021
 Dept. of Mol. Parasitol. and Trop. Dis., Sch. of Med, Col. of Med., Taipei Med. Univ., TAIWAN¹⁾、Res. Centr. of Int. Trop. Med., Col. of Med., Taipei Med. Univ., TAIWAN²⁾、Sch. of Pub. Health, Coll. of Pub. Health, Taipei Med. Univ., TAIWAN³⁾、Nat. Blood Transfusion Serv., Kingdom of Eswatini⁴⁾、Eswatini Health Lab. Serv., Kingdom of Eswatini⁵⁾、医療創生大院・生命理工学・分子寄生虫⁶⁾
 ○Fan Chia-Kwung^{1,2)}、Chou Chia-Mei^{1,2)}、Yin Ai-Wen^{1,2)}、Guo Shiaau Jihng³⁾、Tua Yun-Hung^{1,2)}、Maphalala Gugu⁴⁾、Dlamini Sindisiwe⁵⁾、奈良 武司⁶⁾
- 2C-17** 環境 DNA 手法を用いたフィリピン、レイテ島、エキラン村における日本住血吸虫症の感染リスク評価
 新潟大院保¹⁾、フィリピン国立熱帯医学研究所²⁾、新潟薬科大³⁾、旭川医大⁴⁾
 ○ヴァレンシア ジョセフ^{1,2)}、サトウ マルセロ オオタケ³⁾、パブロ アーチー²⁾、キムソン マリオ²⁾、セルバンテス エレノアー²⁾、ジズ マリオ²⁾、迫 康仁⁴⁾、サトウ 恵¹⁾

- 2C-18 環境 DNA 手法を用いたフィリピン、レイテ島、エキラン村における日本住血吸虫中間宿主 *Oncomelania hupensis quadrasi* のハザードマップ作成
 新潟大院保¹⁾、新潟薬科大²⁾、フィリピン国立熱帯医学研究所³⁾、旭川医大⁴⁾
 ○レヴォルテアド マーク ジューン¹⁾、サトウ マルセロ オオタケ²⁾、ジズ マリオ³⁾、セルバ
 ンテス エレノアー³⁾、パブロ アーチー³⁾、キムソン マリオ³⁾、迫 康仁⁴⁾、サトウ 恵¹⁾

一般口演 16:15~17:03 臨床・教育

座長 保科 斉生(慈恵医大・熱帯医学)

- 2C-19 自作 AI ディープラーニングプログラムによるトキソプラズマ IgM 抗体陽性妊婦 1,500 例の
 トキソプラズマ先天感染の予測プログラムの開発
 ミューズレディスクリニック
 ○小島 俊行
- 2C-20 Therapeutic response to ACTs among individuals with *Plasmodium falciparum* single infection versus mixed *Plasmodium* species infections
 Dept. of Protozoology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University (NEKKEN)¹⁾, Dept. of Biomedical Sciences & Technology, Maseno University Kenya²⁾, Dept. of Emerging and Infectious Diseases, Walter Reed Project Kenya³⁾, Centre for Clinical Research, Kenya Medical Research Institute, Kenya⁴⁾, United States Army Medical Research Directorate-Africa, Kenya⁵⁾, Department of Infectious Disease Epidemiology, Medical Research Council, Centre for Global Infectious Disease Analysis, Imperial College London, London W2 1PG, UK⁶⁾
 ○ Chemwor Gladys^{1,2,3)}、Andagalu Ben³⁾、Juma Dennis³⁾、Ogutu Bernhards⁴⁾、Egbo Timothy⁵⁾、Garges Eric⁵⁾、Kamau Edwin⁵⁾、Watson Oliver⁶⁾、Akala Hoseah³⁾
- 2C-21 マラリアに対する低体温療法の可能性
 慈恵医大・実験動物¹⁾、慈恵医大・熱帯医学²⁾
 ○齊木 選射¹⁾、小田川 太一²⁾、嘉糠 洋陸^{1,2)}
- 2C-22 医学部卒業 5~16 年後の医動物疾患の記憶と経験
 自治医科大医動物学部門
 ○松岡 裕之、加藤 大智

1・2日目 第5会場
Day 1 and 2, Room 5

ポスターセッション 1日目:13:25~14:05、2日目:13:00~13:40

- P-01 実験用飼育ゴキブリの消化管内原虫調査
麻布大・獣・寄生虫
○井上 貴史、小林 益子、平 健介
- P-02 日本近海の *Echinorhynchus* 属鉤頭虫の分子系統解析に基づく、*Echinorhynchus* 属の分類学的課題
北海道大・院理・自然史科学¹⁾、北海道大・理²⁾
○北 悠樹¹⁾、柁原 宏²⁾
- P-03 単為生殖型肝蛭(2倍体、3倍体)の全ゲノム解析:*F. hepatica*および*F. gigantica*ゲノムを用いたアレル頻度比較
北大・人獣研・危機分析¹⁾、岩手大・農・獣医寄生虫²⁾
○尾針 由真¹⁾、長谷川 公哉²⁾、板垣 匡²⁾
- P-04 Genome-wide detection of conserved stage-specific RNA editing events for nuclear genes in *P. falciparum* 3D7 malaria parasite
東北大・院農・動物環境管理学¹⁾、ラジシャヒ大²⁾、北海道大・人獣研³⁾
○AZAD Md THOUFIC ANAM^{1,2)}、Sugi Tatsuki³⁾、Kato Kentaro¹⁾
- P-05 ロングリードシーケンサーとHi-Cを用いた芽殖孤虫ゲノムの解読
東大院・先端生命・多細胞生物生ステム学¹⁾、宮崎大・医・寄生虫学²⁾、宮崎大・フロンティア・ゲノム解析³⁾
○引間 篤志¹⁾、木下 権聖^{1,2)}、前田 安信^{1,2)}、孫 思墨¹⁾、吉田 朱美³⁾、菊地 泰生¹⁾
- P-06 クロナマコを宿主とするハナゴウナ科腹足類2種の寄生部位と系統関係
目黒寄生虫館¹⁾、海洋研究開発機構²⁾、東京大大気海洋研究所³⁾
○高野 剛史¹⁾、長谷川 万純²⁾、井上 香鈴³⁾
- P-07 ヒガイ属魚類を終宿主とする吸虫 *Philopinna higai* の分布調査:環境DNA分析からのアプローチ
北里大・獣医・獣医寄生虫¹⁾、(株)建設環境研究所²⁾、北里大・生物環境・里山環境³⁾
○中村 咲蓮¹⁾、塩練 元輝²⁾、箱崎 純¹⁾、中山 和彦¹⁾、原口 麻子¹⁾、柿野 亘³⁾、草木迫 浩大¹⁾、筏井 宏実¹⁾
- P-08 宮城・福島両県における東日本大震災被災地の齧歯類寄生虫および他野生動物に関する調査概要
酪農大・獣・医動物
三浦 美桜、○武田 源一郎、浅川 満彦
- P-09 岐阜市近郊で採集されたマダニにおけるピロプラズマ遺伝子の検出
岐阜大・応用生物・人獣共通感染症
松田 優花、藤井 祐至、泉 郁輝、岡島 美鈴、伊藤 直人、○正谷 達磨

- P-10 カナダからの輸入馬の筋肉に確認された *Sarcocystis speeri*/*S. falcatula*/*S. neurona* DNA
 山口大・獣医・寄生虫¹⁾、熊本県・食肉検査所²⁾
 佐藤 宏¹⁾、戸田 純子²⁾、Amalia Reski¹⁾、Kyisoe Babi¹⁾、OArgamjav Bayanzul¹⁾
- P-11 北海道のゼニガタアザラシにおけるトキソプラズマの感染調査
 千葉大・院医・感染生体防御学¹⁾、理研・AIP²⁾、東農大・生物産業・海洋³⁾、帯畜大・原虫病セ⁴⁾
 O彦坂 健児¹⁾、Chen F Xue¹⁾、Bai Jingrun¹⁾、松崎 素道²⁾、坂本 寛和¹⁾、小林 万里³⁾、福本 晋也⁴⁾
- P-12 フィリピンのコウモリにおけるクリプトスポリジウム感染の解析
 東北大院農学研究科¹⁾、University of the Philippines Los Banos²⁾、東京農工大³⁾、旭川医科大⁴⁾、岡山理科大⁵⁾
 O許 林¹⁾、Shehata Ayman¹⁾、Alviola Phillip²⁾、Masangkay Joseph²⁾、福田 康弘¹⁾、村越 ふみ¹⁾、大松 勉³⁾、伴戸 寛徳⁴⁾、藤井 ひかる⁵⁾、西坂 祐希⁵⁾、宇根 有美⁵⁾、加藤 健太郎¹⁾
- P-13 高知県産イノシシにおけるドロレス顎口虫の感染状況および系統樹解析
 高知学園短期大専攻科応用生命科学専攻¹⁾、とくしま未来健康づくり機構徳島総合健診センター²⁾、社会医療法人石川 HITO 病院臨床検査部³⁾、高知学園大健康科学部臨床検査学科⁴⁾、高知大医学部寄生虫学⁵⁾、高知大医学部麻酔科学・集中治療医学⁶⁾、ブエノスアイレス イタリアーノ病院臨床研究部⁷⁾
 O播岡 伶音^{1,2)}、斎藤 聖七^{1,3)}、森本 徳仁⁴⁾、片岡 佐誉⁴⁾、ロカテリ ファブリシオ^{5,6)}、ラウチエール ホアン^{5,7)}、是永 正敬^{4,5)}
- P-14 ベネズエラ糞線虫の寄生世代と自由生活世代の世代間比較による寿命制御機構の解明
 東大院・先端生命・多細胞生物システム学¹⁾、宮崎大・医・寄生虫学²⁾、宮崎大・フロンティア・ゲノム解析³⁾
 O鶴田 慈音¹⁾、鴻巣 明日香^{1,2)}、前田 安信^{1,2)}、吉田 朱美³⁾、菊地 泰生¹⁾
- P-15 トリパノソーマ科原虫におけるオートファジー関連因子 ATG12 の同定
 千葉大・医学部・医学科¹⁾、千葉大・院医・感染生体防御学²⁾、長大・熱研・分子感染ダイナミクス解析³⁾、長大・熱帯医学・グローバルヘルス研究科⁴⁾、東大・院医・生物医化学⁵⁾
 O林 正之^{1,2)}、Bai Yun D²⁾、Lin Xiaoxia X²⁾、佐倉 孝哉^{3,4)}、稲岡 ダニエル健^{3,4,5)}
- P-16 ピロプラズマ原虫から見出されたオートファジー関連ユビキチン様結合系の極端な縮退進化
 千葉大・医・感染生体防御学¹⁾、岐阜大・応用生物²⁾、帯畜産大・原虫病セ³⁾
 O坂本 寛和¹⁾、Lin Xiaoxia X¹⁾、Bai Yun D¹⁾、Wang Sichang T¹⁾、正谷 達膳²⁾、麻田 正仁³⁾、彦坂 健児¹⁾
- P-17 *Babesia ovata* 感染フタトゲチマダニにおける卵黄タンパク質前駆体の役割
 帯畜大・原虫研
 O白藤(梅宮) 梨可、佐藤 成子、鈴木 宏志

- P-18 ヒストン修飾酵素阻害剤を用いたマラリア原虫に対する効果とその分子基盤の解明
国立感染症研究所・寄生動物部¹⁾、岩手大・共同獣医²⁾、東京農工大・共同獣医³⁾、東大医科研・マラリア免疫⁴⁾
○関澤 秀斗^{1,2,3)}、荒木 球沙¹⁾、梅木 優子¹⁾、立石 祐樹^{1,4)}、長谷川 早悠里¹⁾、吉村 比呂^{1,3)}、古谷 哲也³⁾、中野 由美子¹⁾、久枝 一¹⁾、案浦 健¹⁾
- P-19 熱帯熱マラリア原虫のヘテロクロマチン維持機構に関与する分子の探索
東京女子医大・医・公衆衛生¹⁾、阪大・微研・分子原虫²⁾
○森 稔幸¹⁾、中嶋 舞²⁾
- P-20 *Plasmodium berghei*のオーカイネート膜タンパク質 OSCP の天然変性領域は蚊中腸への接着に関与する
北里大・獣医・寄生虫
○中山 和彦、箱崎 純、原口 麻子、中村 咲蓮、草木迫 浩大、筏井 宏実
- P-21 マラリア原虫オーキネートのクリスタロイドに局在する新規分子の同定
愛媛大・医・寄生虫¹⁾、東京医科歯科大・寄生虫・熱帯医学²⁾、神戸大・保健・国際感染症対策³⁾
○橘 真由美¹⁾、馬場 みなみ²⁾、入子 英幸³⁾、新澤 直明²⁾、鳥居 本美¹⁾、石野 智子²⁾
- P-22 ジアシルグリセロールキナーゼはネズミマラリア原虫メロゾイトの赤血球侵入と赤血球期発育に必須である
酪農学園大獣医学群 医動物学¹⁾、長崎大熱帯医学研究所 原虫学²⁾、Dept. of Parasitology, Faculty of Medicine Siriraj Hospital, Mahidol Univ.³⁾、長崎大院 医歯薬学総合研究科⁴⁾、長崎大熱帯医学研究所 共同研究室⁵⁾、帯広畜産大原虫病研究センター 地球規模感染症学⁶⁾、長崎大熱帯医学研究所 細胞環境構築学⁷⁾、愛媛大プロテオサイエンスセンター 寄生病原体部門⁸⁾
○石崎 隆弘^{1,2)}、Chaiyawong Nattawat^{2,3)}、Tun Thant Zin^{2,4)}、坂口 美亜子⁵⁾、麻田 正仁^{2,6)}、徳舛 富由樹⁷⁾、矢幡 一英^{2,8)}、金子 修^{2,4)}
- P-23 熱帯熱マラリア原虫の増殖におけるリポ蛋白の影響
順天堂大 熱帯医学 寄生虫学¹⁾、順天堂大 臨床病態検査医学²⁾、東京工科大 応用生物学部 細胞酸化ストレス³⁾
○馮 えん¹⁾、吉田 菜穂子¹⁾、稲葉 悠²⁾、岡本 瑞穂³⁾、堀 敦詞²⁾、堀内 優奈²⁾、福田 直到¹⁾、三井田 孝²⁾、美田 敏宏¹⁾
- P-24 熱帯熱マラリア原虫感染赤血球の多様なヒト細胞への細胞接着を評価するためのプラットフォーム
長崎大・熱研・細胞環境
○宮崎 真也、田中 萌、チタマ ベン、福本 隼平、吉田 益奈子、徳舛 富由樹

- P-25 Phenotypic assessment of pseudokinase pPK4 disrupted clones in *Plasmodium yoelii*
 Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Diseases, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University¹⁾, Department of Protozoology, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University, 1-12-4 Sakamoto, Nagasaki 852-8523, Japan²⁾, Department of Infection Research Standard Course, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University³⁾
 ○Too Edwin^{1,2)}, Nattawat Chaiyawong^{1,2)}, Takahiro Ishizaki^{1,2)}, Thant Zin Tun^{2,3)}, Minami Baba^{2,3)}, Hassan Hakimi^{1,2)}, Masahito Asada^{1,2)}, Kazuhide Yahata^{2,3)}, Osamu Kaneko^{1,2)}
- P-26 ボルバキア- Dengue 熱対策におけるイヌ糸状虫感染干渉の解析
 帯広大・原虫研¹⁾, 慈恵医大・熱帯医学²⁾, 藤田医大・疾患モデル³⁾, 慈恵医大・細胞生理⁴⁾
 白水 貴大^{1,3)}, ○佐々木 瑞希¹⁾, 大手 学²⁾, 暮地本 宙己⁴⁾, 白藤(梅宮) 梨可¹⁾, 嘉糠 洋陸²⁾, 福本 晋也¹⁾
- P-27 クルーズトリパノソーマから検出されたウイルス様 dsRNA
 長崎大・熱研・生物資源室¹⁾, 大阪大・微研・分子ウイルス²⁾
 ○風間 真¹⁾, 七戸 新太郎²⁾
- P-28 芽殖孤虫とマンソン裂頭条虫のセクレトームと表皮構造
 東大院・先端生命・多細胞生物システム学¹⁾, 宮崎大・医・寄生虫学²⁾, 宮崎大・フロンティア・ゲノム解析³⁾, 慈恵医大・熱帯医学⁴⁾, 鳥取大・医・医動物学⁵⁾
 ○木下 権聖^{1,2)}, 引間 篤志¹⁾, 前田 安信^{1,2)}, 吉田 朱美³⁾, 丸山 治彦²⁾, 石渡 賢治⁴⁾, 近藤 陽子⁵⁾, 菊地 泰生¹⁾
- P-29 Identification of Cytoplasmic mRNA Capping Targets in *Trypanosoma cruzi*
 Human Biology Program, University of Tsukuba¹⁾, Faculty of Medicine, University of Tsukuba²⁾, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)³⁾
 ○Nguyen DM Kieu¹⁾, Takagi Yuko³⁾, Ho C. Kiong^{1,2)}
- P-30 多包虫由来物質がヒトの肝細胞に及ぼす影響の解明
 旭川医科大・感染症・寄生虫
 ○伴戸 寛徳, 迫 康仁
- P-31 In silico prediction of TLR9-binding guanine quadruplex sequences in *Leishmania* genome
 長崎大・熱研・分子感染¹⁾, 長崎大・熱帯医学・グローバルヘルス研究科²⁾, 長崎大・情報データ³⁾, 長崎大・熱研・細胞環境⁴⁾, 長崎大・熱研・感染生化学⁵⁾, 東大・医・生物医⁶⁾
 ○洪 ジン¹⁾, 佐倉 孝哉^{1,2)}, 松本 拓高³⁾, 徳舛 富由樹⁴⁾, 北 潔^{2,5,6)}, 稲岡 健ダニエル^{1,2,6)}
- P-32 Chagas 病マウスモデルを用いたバイオイメーキングによる原虫の時空間的ダイナミクスと病態解析
 群馬大・院保・生体情報検査科学¹⁾, 群馬大・院医・教育研究支援センター²⁾
 ○小宮山 美月¹⁾, 鬼塚 陽子¹⁾, 西島 良美¹⁾, 瀬戸 絵理²⁾, 齊尾 征直¹⁾, 嶋田 淳子¹⁾

- P-33 リボ核タンパク質のトランスフェクションによるハプトグロビン-ヘモグロビン受容体のマーカーレス *in situ* タギング
松山大・薬・生化
竹口 雅紀、竹崎 滯央、○中西 雅之
- P-34 赤痢アメーバにおけるプレセニリン相同タンパク質およびγ-セクレターゼ様複合体の解析
東海大・医・基礎医・生体防御・寄生虫
○牧内 貴志
- P-35 マカク腸管寄生アメーバ *Entamoeba nuttalli* の分離株におけるプロリン・トレオニンリッチ表面タンパク質の性状解析
東海大・医・寄生虫¹⁾、東海大・医・放射線治療²⁾、東海大・生命科学統合支援セ³⁾
○今井 達也^{1,2)}、垣野 あずみ¹⁾、飯田 裕美³⁾、牧内 貴志¹⁾、菅原 章友²⁾、橘 裕司¹⁾
- P-36 かつて使われていた抗マalaria薬「アテブリン」に関する歴史的考察
順天堂大・医・熱帯医寄生虫病
○宇野 裕一郎、美田 敏宏
- P-37 マラリア原虫のスポロゾイト感染に対するヒト肝細胞の応答性
京都大 iPS 細胞研究所¹⁾、東京医科歯科大 院医歯学総合研究科²⁾、AMED-CREST³⁾
○渡邊 幸夫¹⁾、出口 清香¹⁾、岡田 玲那²⁾、仲田 吉孝¹⁾、馬場 みなみ²⁾、新澤 直明²⁾、山本 拓也¹⁾、石野 智子²⁾、高山 和雄^{1,3)}
- P-38 ネズミマラリア原虫 *Plasmodium yoelii* 17Xによるコラーゲン誘導関節炎抑制における IL-10 の必要性
産業医科大医学部免疫学・寄生虫学¹⁾、産業医科大医学部²⁾
○清水 少一¹⁾、進 純子²⁾、太田 拓馬²⁾、森田 健太郎¹⁾、長田 良雄¹⁾
- P-39 Down-regulation of colon mucin production induced by *Eimeria pragensis* infection in mice
宮崎大医学部 感染症学 寄生虫学¹⁾、宮崎大・農学部・獣医学科 獣医寄生虫病学研究室²⁾、Department of Parasitology, Faculty of Medicine, Universitas Brawijaya Indonesia³⁾、宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター⁴⁾
○Setia Yulia Dwi^{1,3)}、田中 美緒¹⁾、田中 龍聖¹⁾、長安 英治¹⁾、Parinian Ahmadi²⁾、入江 隆夫^{2,4)}、吉田 彩子^{2,4)}、丸山 治彦¹⁾
- P-40 ヴェネズエラ糞線虫感染マウス小腸組織における上皮細胞間接着の形態学的検討
宮崎大・医・寄生虫
○田中 美緒、丸山 治彦
- P-41 *Trypanosoma brucei* の VSG と宿主マクロファージの自然免疫関連分子間の相互作用
帝京平成大・薬・細胞生化学¹⁾、松山大・薬・生化学²⁾
○後藤 芳邦¹⁾、石毛 奈桜¹⁾、野元 裕²⁾、辻本 雅文¹⁾、中西 雅之²⁾
- P-42 実験的脳マラリア感受性を示す 3 系統のマウスに共通して関与する宿主遺伝子の解析
名大院・医・実験動物
○宮坂 勇輝、大山 海、岩竹 望未、大野 民生

- P-43** 沖縄県中部地域における糞線虫症血清学的マスキリーニング
 順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、沖縄県立中部病院・救急科²⁾、沖縄県立中部病院・臨床検査科³⁾、沖縄県立中部病院・内科⁴⁾
 ○小菅 顕大^{1,2)}、福田 直到¹⁾、吉田 菜穂子¹⁾、船越 麻乃³⁾、八幡 照幸³⁾、尾原 晴雄⁴⁾、美田 敏宏¹⁾
- P-44** ウミガメ腸管内の *Entamoeba invadens* 寄生による病原性の解明
 帯畜大・原虫研¹⁾、沖縄美ら海水族館²⁾、帯畜大・獣医・病理³⁾
 ○末永 羅綺¹⁾、片山 菜月¹⁾、中島 愛理²⁾、濱野 隼杜³⁾、山田 学³⁾、渡邊 謙一³⁾、水落 夏帆²⁾、河津 勲²⁾、植田 啓一²⁾、福本 晋也¹⁾
- P-45** Disruption of Zinc Homeostasis in Plasmodium falciparum is Induced by Dihydroartemisinin to Enhance the Growth Inhibition via Pyknosis
 理研・生命機能科学研究センター¹⁾、杏林大・医・感染症²⁾、長崎大・院・医歯薬・免疫学³⁾、紅寿の里・介護老人保健施設⁴⁾、麻布大・生命・環境科学⁵⁾
 ○朝日 博子¹⁾、新倉 保²⁾、井上 信一³⁾、仙道 富士郎⁴⁾、小林 富美恵⁵⁾、和田 章¹⁾
- P-46** 滋賀県立大学における研究倫理教育への取り組み
 滋賀県立大・環境¹⁾、三雲特許商標事務所²⁾
 ○浦部 美佐子¹⁾、原田 英美子¹⁾、畠 佐代子¹⁾、高倉 耕一¹⁾、西田 隆義¹⁾、丸尾 雅啓¹⁾、三雲 悟志^{1,2)}
- P-47** 赤痢アメーバ症の血清診断のための蛍光イムノクロマト法の評価
 東海大・医・寄生虫¹⁾、東海大・医・臨床検査²⁾、チュラロンコン大・医・寄生虫³⁾
 ○橋 裕司¹⁾、垣野 あずみ¹⁾、程 訓佳¹⁾、浅井 さとみ²⁾、Pattanawong Urassaya³⁾、Putaporntip Chaturong³⁾、Jongwutiwes Somchai³⁾
- P-48** マルチプレックス qPCR を用いた熱帯熱マラリア原虫の薬剤耐性変異迅速検出法の精度評価
 順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、グル大・医²⁾
 ○津留 衣吹¹⁾、福田 直到¹⁾、池田 美恵¹⁾、バリカガラ ベティ¹⁾、吉田 菜穂子¹⁾、平井 誠¹⁾、オドンゴ=アギーニャ エマニユエル²⁾、美田 敏宏¹⁾
- P-49** 熱帯熱マラリア原虫ガメトサイト感染者を検出する抗体バイオマーカーの探索
 東京医科歯科大 熱帯医学 寄生虫学部門¹⁾、ガーナ 野口記念医学研究所²⁾、愛媛大 プロテオサイエンスセンター マラリア研究部門³⁾
 ○長岡 ひかる¹⁾、二瀬 周哉³⁾、ブレドウ ドルカス ジャマ²⁾、アモア リンダ エヴァ²⁾、高島 英造³⁾
- P-50** *In vitro* antiplasmodial activity of nine selected traditional medicinal plants from Bangladesh
 東北大・院農・動物環境管理学¹⁾、ラジシャヒ大²⁾
 ○Qulsum Umme^{1,2)}、Azad Md Thoufic Anam^{1,2)}、kato Kentaro¹⁾
- P-51** 慢性期シャーガス病マウスモデルを用いた IMD-2560 による抗炎症作用の解析
 群馬大・院保・生体情報検査科学¹⁾、株式会社医薬分子設計研究所²⁾、群馬大・院医・教育研究支援センター³⁾
 ○古川 眞衣¹⁾、井上 渚¹⁾、鬼塚 陽子¹⁾、西島 良美¹⁾、中西 玲子²⁾、瀬戸 絵理³⁾、齊尾 征直¹⁾、嶋田 淳子¹⁾

- P-52 慢性期シャーガス病マウスモデルを用いたキノン含有化合物の抗原虫作用の検討
群馬大・院保・生体情報検査科学¹⁾、高崎健康福祉大・薬²⁾、群馬大・院医・教育研究支援センター³⁾
○井上 渚¹⁾、鬼塚 陽子¹⁾、古川 真衣¹⁾、須藤 豊²⁾、西島 良美¹⁾、瀬戸 絵理³⁾、齊尾 征直¹⁾、嶋田 淳子¹⁾
- P-53 ゲノムマイニングを基盤とした糸状菌代謝産物の抗マラリア活性スクリーニング
順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、東北大・院・薬²⁾
○早苗 海斗¹⁾、平井 誠¹⁾、浅井 禎吾²⁾、美田 敏宏¹⁾
- P-54 細胞性粘菌(*Dictyostelium discoideum*)柄細胞分化誘導因子を用いた新規誘導体の抗マラリア活性
順天堂大・医・熱帯医寄生虫病¹⁾、慶應義塾大・薬・天然医薬資源²⁾、順天堂大・スポーツ健康科学・健康生命科学³⁾
○松井 玲奈¹⁾、吉田 菜穂子¹⁾、西村 壮央²⁾、菊地 晴久²⁾、久保原 禅³⁾、美田 敏宏¹⁾